

## 一人職場である養護教諭のための教職実践演習

教職推進・学生支援機構 教職課程支援部門 天 野 菜穂子  
 医学部看護学科 大 平 邦 子  
 医学部看護学科 石 原 多佳子  
 教職推進・学生支援機構 教職課程支援部門 宮 本 正 一

### はじめに

岐阜大学医学部看護学科では、平成22年度から養護教諭養成課程をおき、本年度平成25年においては養護教諭一種取得を目指す1年次から4年次までのすべての学年次において学生がそろうに至った。(表1)

表1 平成25年度岐阜大学医学部看護学科養護教諭養成課程で学ぶ学生

学年次	4年次 (平成22年入学)	3年次 (平成23年入学)	2年次 (平成24年入学)	1年次 (平成25年入学)
学生数(人)	3	4	9	7

4年次に学生は、養護実習事前指導、養護実習、養護実習事後指導、教職実践演習を履修する。この教職実践演習という科目は、教職課程の集大成と目される科目であり、2006年の文部科学省の答申より、2013年度からの開設が謳われた。その内容は、「より現場に近く」「より実践的な」学びのスタイルが求められ、学生に対しては、教員になる上で自己にとって何が課題であるかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されている。

### I. 教職実践演習の意義

そしてこの科目は、下記の四つの事項を踏まえることを「答申」では述べている。

- ①使命感や責任感、教育的愛情に関する事項
- ②社会性や対人関係能力に関する事項
- ③幼児児童生徒理解や学級経営に関する事項
- ④教科・保育内容等の指導力に関する事項

筆者らは上記の事柄を養護教諭に求められるものに置き換え、

- ①使命感や責任感、教育的愛情に関する事項
- ②社会性や対人関係能力に関する事項
- ③幼児児童生徒理解や保健室経営等保健管理に関する事項
- ④保健指導・教科(保健)等の指導力に関する事項

以上の四つの事項とした。

そこで筆者らは、学生が養護教諭として現場に立った時に、教職生活の基盤となるべく、この4つの事項を踏まえ、理論と実践をつなぐ有機的な統合が図られるような授業内容を積極的に開発・工夫することを念

頭に置いた。

特に養護教諭の場合、一人職種であるが故の責任の重大さから、学生は大きな使命感とともに、不安と心細さを抱えていることがうかがえた。そこで、筆者らは教職実践演習の授業内容を設定するに当たって、学生に、ゆるぎない自信としなやかな対応力が身に付くものを用意することを共通理解とした。

## Ⅱ. 教職実践演習授業設計について

### (1) 教職実践演習に対する期待

筆者らは養護実習後に、学生と学生の指導に当たった養護教諭を対象にして、「現場に立つまでの最後の学びである教職実践演習の内容ではどんなことを取り扱うべきか」について聞き取り調査を行った。そこで出された内容を以下にまとめる。

#### 【学生】

- ・保健室を訪れる子どもの訴えは、生活習慣アセスメント、フィジカルアセスメント、心理的アセスメントを通して、総合的にとらえねばならないことを実感した。アセスメントの知識や方法、それに基づいた判断や処置などを具体的に学びたい。
- ・生徒の発する身体症状に対して、生徒が自分の問題としてとらえ考えるようにするには、どのようなはたらきかけがよいのかを学びたい。
- ・養護実習の期間外にある学校行事、保健室行事に関わる職務に関して学びたい。

#### 【学生の指導に当たった養護教諭】

- ・日常的なこまごまとした職務に関して、実習期間内に学ばせることは時間的にむずかしかったので、補充が必要である。
- ・学生にとって未経験な各種帳簿の記入方法や保険等の処理について学ぶ必要がある。
- ・健康診断については、実施場面の実習とともに、その準備や事後までの一連の流れを体験したものの、それに基づいた集団的または個人的な健康課題を健康教育に具現していくことは手薄い。健康診断に基づく発展的な養護教諭の職務を認識させたい。

養護教諭は新卒であっても配属直後から自立して活動することを求められるので、学生・指導養護教諭双方から、職務に耐えうる実践能力をいかに担保するかが、教職実践演習の切実な課題として提出された。

### (2) 教職実践演習の条件

そこで教職実践演習で扱われる内容の条件として、以下の5点を考えた。

1. 養護教諭として現場に立った時に、すぐに役立つ内容である。
2. 養護実習を終了した時点で養成課程の不足を補い、新しい視点を持って、これまでの学修を洗練させる。
3. 養護実習事前指導、養護実習、養護実習事後指導、教職実践演習を現場と直結している科目として一体化させ、養護教諭の職務の全体像を把握・理解し、現場に立った時の拠り所となる。
4. 医療技術が目覚ましい進歩を遂げる中、学校保健の現場も連動した動きが求められる。養護教諭として新しい知識や技能の習得に開かれた態度を取り、啓蒙に努める気持ちを養う。
5. 養護教諭としてその職務に主体性をもつことができる。

特に3.に関しては、養護教諭の職務全体を俯瞰し理解を深めるために、「養護実習」を中心に、「養護実習事前指導」、「養護実習事後指導」、「教職実践演習」が有機的に結びつくように構成した。以下に各科目と学びの内容を示す。

#### 養護実習事前指導

- ①学校の教育計画と学校の運営組織についての理解

②学校での生活と環境についての理解

③保健室来室者への対応

①救急処置活動の進め方

②救急処置活動の過程

③演習

④健康診断の技術の理解と演習

①定期健康診断の内容

②定期健康診断実施の流れ

③健康診断の技術についての理解と留意点の確認及び演習

⑤子どもの集団的な健康課題の解決に向けた保健学習や保健指導の理解と実践

①教科保健（保健学習）の指導案の作成

②学級活動における保健指導の指導案の作成

③模擬授業

①、②に関しては、他の教職に関する科目でも扱うが、ここでは養護教諭の立場における内容を提供している。③、④、⑤に関しては、養護実習の期間が4月から7月であることから、その期間に行われる保健行事を中心にして現場での学びの準備を行う。

#### 養護実習

健康診断の事前から事後までの一連の流れ、保健室対応、保健学習や保健指導の指導方法等に関する内容、学校保健と学校内外との連携等を現場で学ぶ。

#### 養護実習事後指導

養護実習での学びをまとめ、自らが感じとったことに基づいてプレゼンテーションを行う。学生は養護実習を省察し、自己にとって何が課題であるのかを自覚する。

「教職実践演習」は、「養護実習事前指導」、「養護実習」、「養護実習事後指導」を経て、その内容は前に位置する3つの科目と合わせて養護教諭の職務全体を見渡し、新たな課題を持つものとなることを目指した。

### (3) 教職実践演習の具体的内容

Ⅱ (2) の5点の条件をもとにして、養護実習では経験できなかった学校行事や保健室に関する職務、また実習校とは校種の異なる高等学校・特別支援学校の保健室経営に関して、理解を深められる内容を設定した。

また学生が、より現場に近いところに視点を置き、実践的な立場で考え認識を深めるために、以下の題目で3人の外部講師（県下の養護教諭）を招くことにした。

<題目> ・健康診断の事後の発展として、子ども一人一人に自己の健康課題を考えさせる取り組み  
・不登校の子どもに対する保健室登校の意義、ならびに子どもに対するアセスメントや対応、親への支援、学校内外の機関との連携等に関すること  
・性教育に関する指導と思春期の子どもへの対応

尚、外部講師の人選に関しては、毎年行われている岐阜大学教育学部同窓会の「教育実践研究助成事業」によって発刊される「教育実践研究入賞論文集」のなかから、テーマに則した内容の論文の筆者である現場養護教諭に依頼した。

### (4) 教職実践演習授業設計

Ⅱ (3) 教職実践演習の内容を15回の授業に割り振ったのが、表2である。なお、「領域」に関しては、学校保健の保健教育、保健管理、組織活動の領域のうち、どの領域にあてはまる内容であるかを記述する。

表2 教職実践演習の授業設計

回	具体的な授業内容	担当者	備考	領域
1	<p>ガイダンス – 「学習録」等に基づく自己評価及び自己課題の明確化–</p> <p>*2006文科省答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」に謳われている目標到達の指標を自己評価する。</p> <p>*岐阜大学全学共通教職課程が定める養護教諭に必要な資質・能力に対する確認指標を自己評価する。</p> <p>*各確認指標の項目における自己課題を設定する。</p>	<p>教職課程担当</p> <p>教科担当</p>	<p>・自己課題を交流する。</p> <p>・共通の課題を明確化する</p>	*学校保健 領域全般
2 3	<p>高等学校における養護教諭の職務</p> <p>*高等学校の養護教諭の日常的な職務に関して理解する。</p> <p>*生徒への対応、校内や外部機関との連携等について、理解する。</p> <p>*青年期の心性をもつ生徒との関わりについて理解を深める。</p>	<p>現職教員</p> <p>教職課程担当</p> <p>教科担当</p>	<p>・学校現場を見学し、講話を受ける</p>	*学校保健 領域全般
4	<p>特別支援学校における養護教諭の職務</p> <p>*特別支援学校の養護教諭の特徴的な活動を理解する。</p> <p>*特別支援教育において期待される保健室経営についての事項を理解する。</p> <p>*病児や障がい児への対応に関して理解する。</p> <p>*医療的支援に関して、養護教諭と看護師の役割の違い、および両者の連携・協力に関して理解する。</p>	<p>現職教員</p> <p>教職課程担当</p> <p>教科担当</p>	<p>・学校現場を見学し、講話を受ける</p>	*保健管理 *組織活動
5	<p>保健室経営計画の作成</p> <p>*実習校の保健室経営計画を理解し、実習中に捉えた子どもの健康課題に基づいて、保健室経営計画を作成する。</p> <p>*各自の立案した保健室経営計画をもとに意見交換をする。</p>	<p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>	<p>・各自の実習校の教育目標、学校経営計画、学校保健計画、児童生徒の実態等の資料を用意する。</p>	*学校保健 領域全般
6	<p>保健室経営の実際</p> <p>*保健室のレイアウト、備品、各種帳簿の整理について確認する。</p> <p>*保健室から出る文書、調査等について留意事項を確認する。</p> <p>*日本スポーツ振興センターの給付制度の理解と実際に関して確認をする。</p>	<p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>		*保健管理
7	<p>環境衛生活動の実際</p> <p>*実習中の環境衛生活動を捉え直し、児童生徒・教職員とともに取り組む環境衛生活動について考える。</p>	<p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>		*保健管理

8	<p>感染症の予防と対策</p> <p>* インフルエンザ、感染性胃腸炎、風疹等への理解と対応に関して確認をする。</p>	<p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>		* 保健管理
9	<p>保健室来室者への対応</p> <p>* 学校における救急処置の特性に応じたヘルスアセスメントを演習し、保健室来室者への対応について考察する。</p> <p>・ 傷病者の基本的な対応過程</p> <p>・ 子どもの訴え、症状別にみたヘルスアセスメントの基本技術、過程、項目と判断</p> <p>・ フィジカルアセスメント、心理的アセスメント、社会的アセスメント、生活習慣アセスメントの適切な活用</p>	<p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>	<p>・ 各自の実習校の健康診断の資料を参照する。</p>	* 保健管理
10	<p>健康課題に取り組む健康教育</p> <p>* 現職教員から学校の健康課題に則った健康安全をテーマとした実践を視聴する。</p> <p>* 子どもが自らの健康課題を捉えることのできるはたらきかけ、保健指導・保健学習の在り方、地域や保護者との連携、養護教諭が独自に行う調査について、ディスカッションをし、考え方を深める。</p>	<p>現職教員</p> <p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>		<p>* 保健教育</p> <p>* 保健管理</p>
11	<p>今日的な情報や課題への対応</p> <p>* 熱中症、食物アレルギー等への理解と対応に関して確認をするとともに、新たな知見を得る。</p>	<p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>		* 保健管理
12	<p>心身に課題を抱える児童生徒への対応</p> <p>* 不登校をしている児童生徒に対する養護教諭の支援に関する実践を現職教員から視聴する。</p> <p>・ 子どもに対する的確なアセスメントとその対応</p> <p>・ 子どもを支援する教職員のチームとしての働き</p> <p>・ 保護者と学校の協働を引き出す保護者対応</p> <p>・ 外部機関との連携・協力</p>	<p>現職教員</p> <p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>		<p>* 保健管理</p> <p>* 組織活動</p>
13	<p>特別活動における養護教諭の役割</p> <p>* 特別活動の中の学校行事において、養護教諭はどのような役割があるのかを、実際の学校行事を想定して計画してみる。</p> <p>・ 遠足・集団宿泊的行事（遠足、社会見学、宿泊学習、修学旅行等）、体育的行事、儀式的行事（入学式、卒業式等）の実施の際にどのような指導や支援が必要なのかを考える</p>	<p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>		<p>* 保健管理</p> <p>* 保健教育</p>
14	<p>思春期の児童生徒への対応</p> <p>* 中学生を対象とした性に関する教育の実践を現職教員から視聴する。</p> <p>・ 性を豊かな人間関係の中に位置づける取組み</p>	<p>現職教員</p> <p>教科担当</p> <p>教職課程担当</p>		* 保健教育

15	危機管理における養護教諭の役割 *危機管理における養護教諭の役割を理解する。 *養護診断の意義や範囲などをディスカッションし、様々な場面を想定して、ロールプレイを行う。	教科担当  教職課程担当	*保健管理
----	--	--------------------	-------

### (5) 教職実践演習の授業の日程

授業の日程は表3の通りである。

学生の国家試験等の受験対策期間を考慮し、授業は1日につき2回ずつ進め、12月初旬に日程を終えるようにした。また現職教員による授業は、勤務に支障の出ないように、5限を充てることとした。高等学校・特別支援学校保健室訪問は、受け入れ側である現場と時間調整を行った。

表3 教職実践演習の授業の日程

日	回	演習内容 (木曜 第4限14:45~16:15)	回	演習内容 (木曜 第5限16:30~18:00)
10/3	1	ガイダンス		
10/8	2・3	高等学校における養護教諭の職務		
10/15	4	特別支援学校における養護教諭の職務		
10/24	5	保健室経営計画の作成	6	保健室経営の実際
10/31		学 祭		
11/7	7	環境衛生活動の実際	8	感染症の予防と対策
11/14	9	保健室来室者への対応	10	健康課題に取り組む健康教育 (外部講師)
11/21	11	今日的な情報や課題への対応	12	心身に課題を抱える児童生徒への対応 (外部講師)
11/28	13	特別活動における養護教諭の役割	14	思春期の児童生徒への対応 (外部講師)
12/5	15	危機管理における養護教諭の役割		

### Ⅲ. ポートフォリオの活用

ポートフォリオは、学生が様々な学習活動を通して身に付けた成果や収集した資料を系統的に蓄積していくファイルである。学生には、教職実践演習の15回の内容と日程および15回の演習の記録用紙を綴り込んだファイルをガイダンスで渡し、授業期間中にオリジナルのポートフォリオを作成することとした。

また学生は第1回のガイダンスにおいて、「2006年の答申」に基づく確認指標と岐阜大学全学共通教職課程の作成したカリキュラムマップに基づく確認指標で自己省察を行った。第15回の授業終了後にも同様の確認指標で自己省察を行うことになっている。第1回と第15回の自己省察の結果から、学生自身がどのくらい養護教諭の職務に対する認識を深めることができたか、また更に検討を深めねばならないのはどの部分なのか、新たな課題をどのように設定しているかが、明らかになるだろう。

### Ⅳ. 課題

養護教諭養成課程に在籍はしたものの、養護教諭の道を歩まない学生や養護教諭と看護職のどちらの道を選択すべきか、いまだ悩んでいる学生もいる。多様な進路選択をする学生のすべてが養護教諭の免許状取得のために、15回の授業を受けねばならない。受講する学生のモチベーションもまた多様であろうことが予測される。授業に参加することが学生にとって義務のように受け止められないように、担当教員である我々自身も魅力ある授業を提供するという難問を突き付けられている。